



科研製薬株式会社

2018年3月期 第2四半期決算

IR ミーティング

2017年11月8日

- **本説明資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。**
- **新薬が発売されるまでには、多額の資金と長い開発期間が必要となります。有効性と安全性を確認しながら慎重に開発を進めていくうちには、開発中止となる可能性があります。**
- **「開発テーマの状況」は、現時点の開発計画に基づいて作成しております。開発計画の進行に伴い、変更等が発生する可能性があります。**

2018年3月期 第2四半期損益実績(連結)

(百万円未満切捨)	17年3月期 第2四半期	18年3月期 第2四半期	増減	前期比 (%)	18年3月期 第2四半期 計画*
売上高	52,179	49,860	▲ 2,319	95.6	51,100
売上原価	22,281	20,899	▲ 1,381	93.8	-
販売費及び一般管理費	13,774	13,625	▲ 148	98.9	-
研究開発費	3,627	3,644	17	100.5	-
営業利益	16,123	15,335	▲ 788	95.1	14,700
経常利益	16,238	15,517	▲ 720	95.6	14,800
税引前当期利益	16,173	15,481	▲ 692	95.7	-
当期純利益	11,446	10,868	▲ 578	94.9	10,400

(※ 2018年3月期の期初計画:2017年5月10日公表)

○4. 4%の減収

- ・ Jublia関連収入の減少
- ・ 主力医薬品やその他長期収載医薬品等の減少
- ・ 農業薬品の減少

○中間配当は75円

売上内訳(連結)

(百万円未満切捨)	17年3月期 第2四半期	18年3月期 第2四半期	増減	前期比 (%)
医療用医薬品・医療機器	44,518	43,180	▲1,338	97.0
農業薬品	2,384	1,867	▲516	78.3
不動産賃貸料	1,190	1,201	10	100.8
その他	4,085	3,611	▲474	88.4
合計	52,179	49,860	▲2,319	95.6

主な医薬品・医療機器の売上実績内訳

(百万円未満切捨)	17年3月期 第2四半期	18年3月期 第2四半期	前期比 (%)
アルツ	14,955	14,820	99.1
クレナフィン	11,639	11,849	101.8
セプラフィルム	5,536	5,231	94.5
リピディル	2,227	2,239	100.6
フィブラストスプレー	1,846	1,809	98.0
ジェネリック医薬品	5,984	5,953	99.5

アルツ：治療の多様化等により横ばい
クレナフィン：2Q単独では前期比104.5%
セプラフィルム：新たな競合品が市場に参入

連結貸借対照表／連結キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨)

	2017年 3月末	2017年 9月末	増減
流動資産	90,494	102,780	12,285
固定資産	44,565	45,810	1,244
資産合計	135,060	148,590	13,530
流動負債	24,020	32,125	8,104
固定負債	8,384	8,058	▲325
負債合計	32,405	40,184	7,778
純資産合計	102,655	108,406	5,751

【主な変動科目】

- ◆ 資産
現金及び現金同等物: 47,530百万円
(+3,763百万円)
- ◆ 負債
有利子負債: 3,875百万円
- ◆ 純資産
利益剰余金: 92,134百万円 (+7,803百万円)
自己株式: ▲23,251百万円 (▲3,437百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書

	2016年 4-9月	2017年 4-9月	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	5,699	11,086	5,386
投資活動による キャッシュ・フロー	▲2,151	▲822	1,329
財務活動による キャッシュ・フロー	▲6,729	▲6,500	228
現金および現金同 等物の期末残高	38,562	47,530	8,968

【主な変動要因】

- ◆ 営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前四半期純利益: 15,481百万円
- ◆ 投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得: 497百万円
- ◆ 財務活動によるキャッシュ・フロー
自己株式取得額: 3,437百万円
配当金支払額: 3,063百万円

2018年3月期上期の進捗状況

～トピックス～

- ・爪白癬治療剤「Jublia」が韓国で承認・発売
- ・スイスのNumab Therapeutics AG社と新規抗体医薬の創薬に向け共同研究

～クレナフィンの海外展開～

台湾：承認申請中。

台田薬品股份有限公司(田辺三菱製薬の連結子会社)に導出

中国：臨床試験の申請が当局により受理。並行して複数の候補から導出先を検討中

香港・マカオ：導出候補先と契約交渉中

～歯周組織再生剤 リグロス～

歯周炎による歯槽骨欠損に対する手術の際に使用される、新しい歯科専用医薬品であり、歯周病学会の会員など歯周外科手術の経験豊富な歯科医師へ情報提供

≫ ≫ 有効性・安全性の評価を積み重ね、着実な成長を図る

開発テーマの状況

開発コード	予定適応症	開発段階	備考
KAG-308	潰瘍性大腸炎	P II	旭硝子株式会社と共同開発 経口プロスタグランジン製剤
BBI-4000	原発性局所多汗症	P II	ブリッケル・バイオテック社より導入 外用抗コリン剤
KMW-1	熱傷焼痂除去	P I 準備中	メディウンド社より導入 外用酵素製剤 海外での製品名 : NexoBrid
KP-607	爪真菌症	P I 準備中	自社創薬 ポスト クレナフィン

2018年3月期損益計画(連結)

(百万円未満切捨)	2017年 3月期	2018年 3月期 計画	増減	前期比 (%)
売上高	101,479	101,700	221	100.2
営業利益	30,707	26,800	▲ 3,907	87.3
経常利益	30,981	27,000	▲ 3,981	87.1
税引前当期利益	31,092	27,000	▲ 4,092	86.8
当期純利益	22,017	19,100	▲ 2,917	86.8
販売費及び一般管理費	26,745	31,200	4,455	116.7
うち、研究開発費	6,450	10,900	4,450	169.0

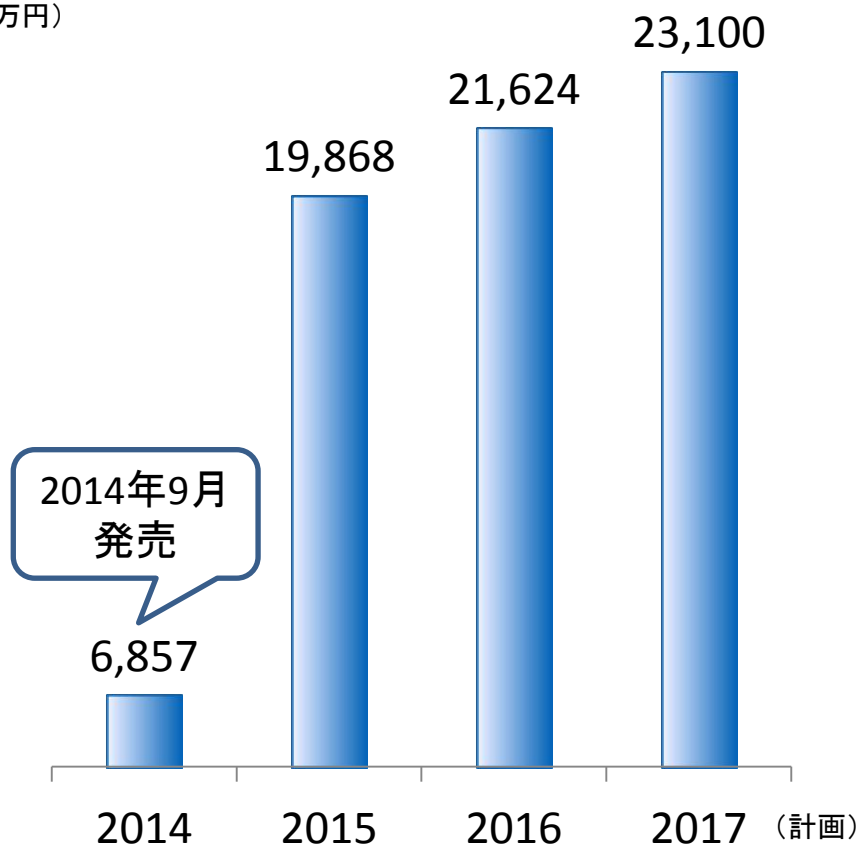
主な医薬品・医療機器の売上計画内訳

(百万円未満切捨)	2017年 3月期	2018年 3月期 計画	前期比 (%)
アルツ	28,978	29,700	102.5
クレナフィン	21,624	23,100	106.8
セプラフィルム	11,036	10,800	97.9
リピディル	4,430	4,600	103.8
フィブラストスプレー	3,700	3,900	105.4
ジェネリック医薬品	11,903	12,200	102.5

国内医療用医薬品・医療機器

爪白癬治療剤 クレナフィン

売上高
(百万円)



2017年度計画: 前期比 106.8%

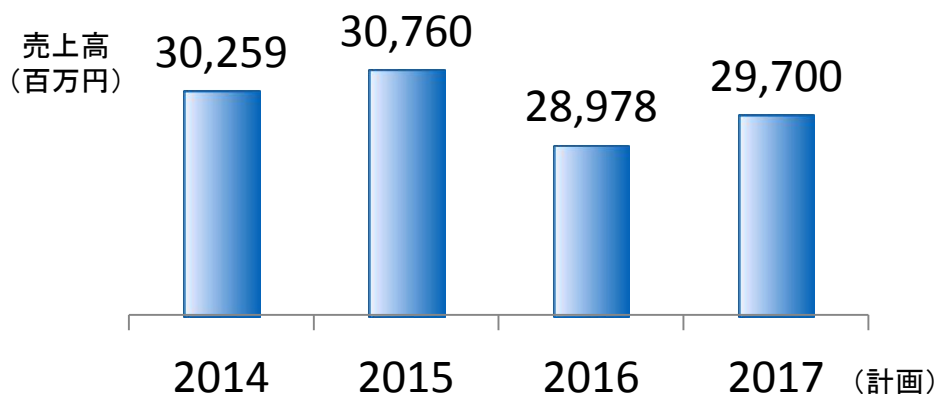
潜在的な患者さんへの処方により市場の拡大を目指す。

- 患者さんへの疾患啓発活動 (新聞広告、市民公開講座等)
- 皮膚科Drへの情報提供活動を強化 (発売3周年記念講演会を各地で開催)
- 他診療科のDrに対する疾患啓発活動 (皮膚科との診療連携を推奨)

国内医療用医薬品・医療機器

関節機能改善剤

アルツ

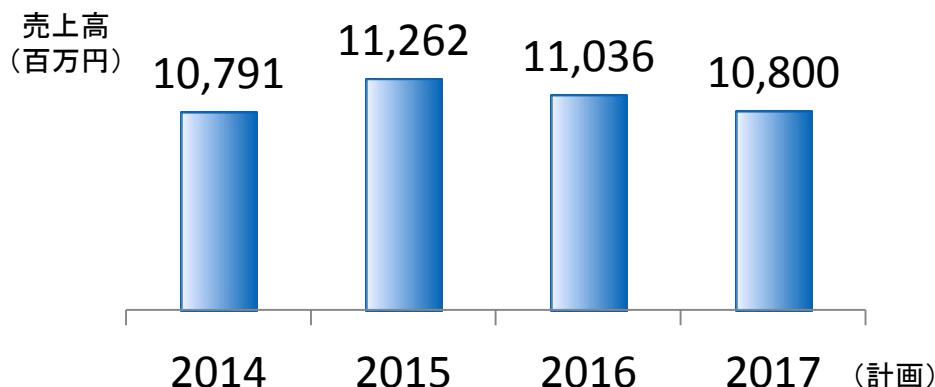


2017年度計画: 前期比 102.5%

発売から30年間で蓄積されたエビデンスや最新データの提供により、シェア拡大に向け注力

癒着防止吸収性バリア

セプラフィルム

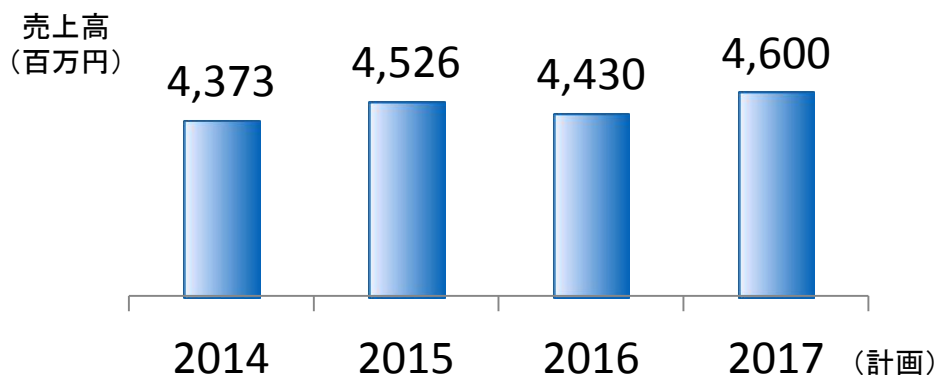


2017年度計画: 前期比 97.9%

競合品が参入することによる市場の拡大に向け、他材にはない多くのエビデンスにより、有用性の理解を進める

国内医療用医薬品・医療機器

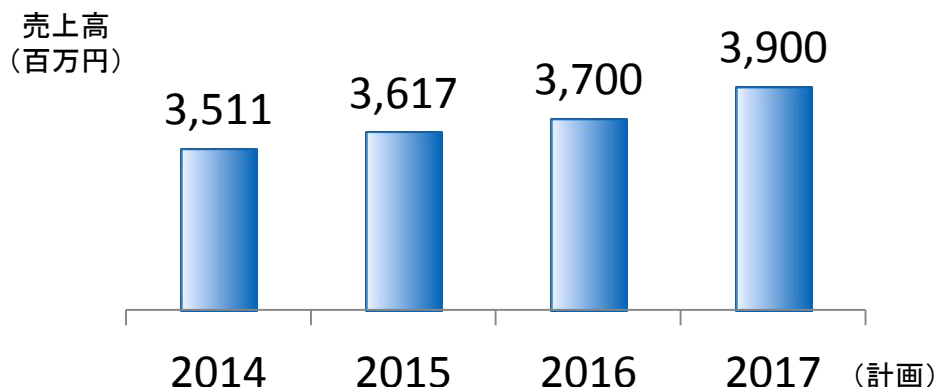
高脂血症治療剤 リピディル



2017年度計画:前期比 103.8%

「糖尿病ガイドライン2016」など関連ガイドラインの活用により、有用性の理解を更に進める

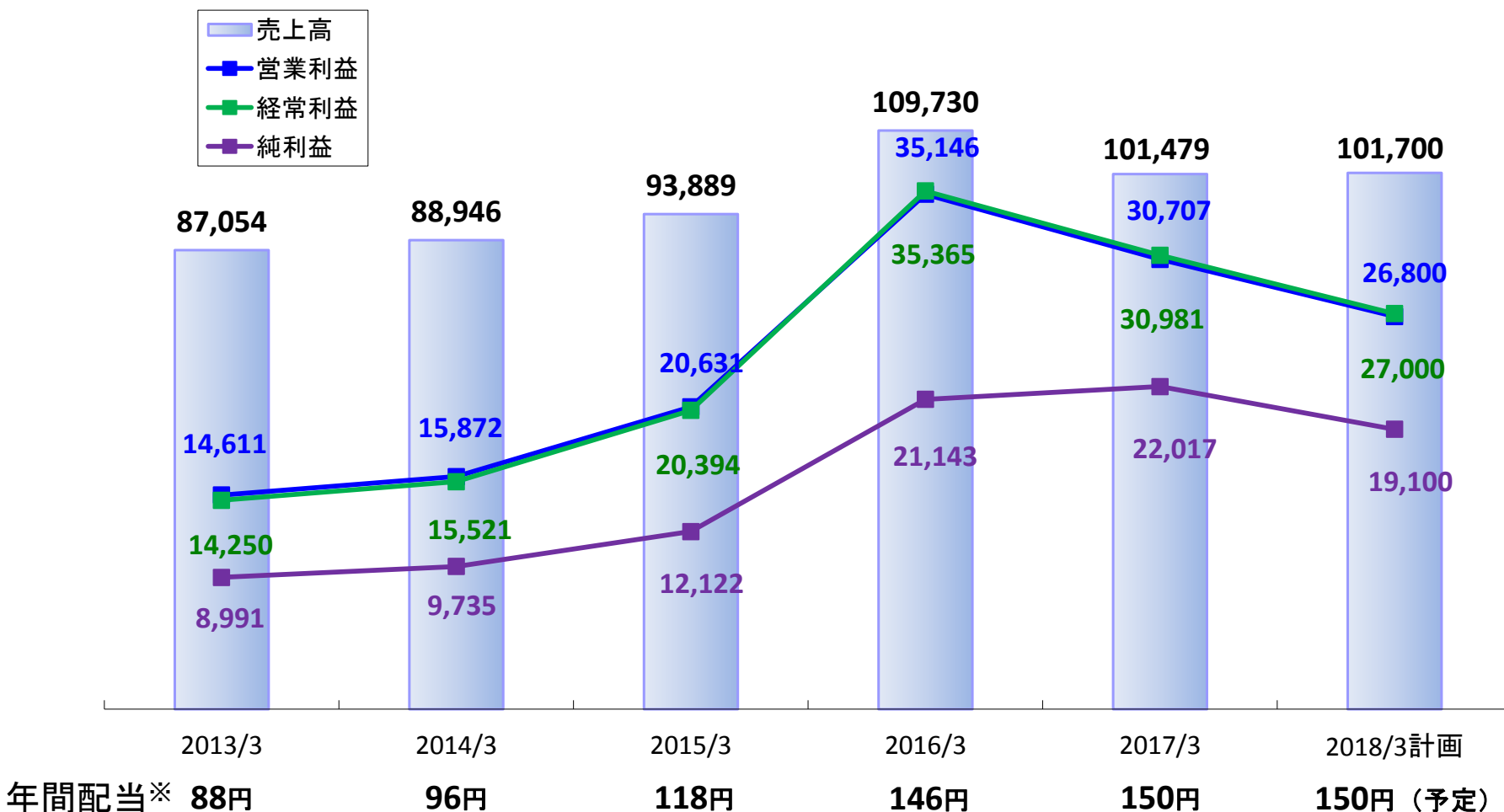
褥瘡・皮膚潰瘍治療剤 フィブラストスプレー



2017年度計画:前期比 105.4%

日本皮膚科学会の「創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン」が改訂され、Ⅱ度熱傷に対する本剤の推奨度が上げられた。改訂ガイドラインの訴求により更なる拡大を目指す

業績推移(連結)



※2015年10月1日付で株式併合(2株を1株に併合)を実施しております。
 上記年間配当は、株式併合後の基準で換算した金額を記載しております。